



校長室だより

校長 山崎 聡子

第54回運動会

6月4日(日)に、運動会を実施いたしました。大雨の金曜日には、PTAの方々から室内等での準備をしてくださったこと、雨があがった土曜日には、教職員が準備している際、地域の方や保護者の方が力をかしてくださる等、多く力添えの中で、運動会を迎えることができました。感謝申し上げます。

4月に入学を迎えた1年生、そして進級しクラスが変わった2年生から6年生までの子供たち。運動会に向けて本格的に動き始めて約1か月。目まぐるしい変化の中子供たちは運動会に向けて練習を積み重ねてきました。先生や友達、御家族から励まされながら、どの学年もみんなですばらしい演技を創り上げる努力をしてきました。精一杯に頑張ってきたからこそ、その成果を発揮できる運動会を実施できたこと、本当に良かったと思っています。

徒競走では、ゴールを目指して力いっぱい走ってくる真剣な表情に心が熱くなりましたし、2学年合同の団体競技では、仲間と声をかけて、応援する姿がすてきなあとと思いました。一番練習に時間を割いてきた表現は、動きを覚えていく中で、苦戦したこともあったことと思います。しかし、仲間との関わりの中で、みんなで一つのものを創り出す、すばらしい姿を見せてくれました。どの学年も体全体を使って音楽に合わせて表現活動を行い、さらに子供たちの表現が生かされていくようにと、学年に応じて、様々な工夫を凝らしていました。1・2・3年生は、笑顔で楽しそうにダンスをする姿が印象的でした。

4・5・6年生の演技は真剣そのもので、引き込まれていきました。4・5年生は、一つ一つの動きに切れを出して表現し、迫力がありました。6年生は、仲間と共に息を合わせて、声をかけ合いながら演技を見せてくれました。以前、練習を見ていた低学年の子供が「自分たちも6年生になったら、同じものができのかな」とつぶやいていたことがありますが、最高学年だからこそ創り上げることができるものであったと思います。

5・6年生の係活動もすばらしいものでした。一部4年生も担っていた係もありますが運動会の運営を支えていました。用具の準備や片付け、ライン引き、放送による実況中継決勝係としての機敏な動き、得点掲示、救護係、1年生の対応をしたり、プログラムの呼びかけをしたりする等、自分の役割を考えて行動する子供たちの姿がありました。また、応援団も競技中に、大きな声を出して応援し運動会を盛り上げてくれました。

4年ぶりに、全校が一同に集まり、お互いの演技を全児童で見合ったり、応援したりすることができた運動会。仲間と共に創り上げることができた今年の運動会は、今まで以上に心に残る大きな思い出になったことと思います。

PTA役員の皆様、係の皆様には、早朝より運動会のためにお力をいただきましたこと感謝申し上げます。また、閉会式後には、多くの保護者の方や地域の方が残ってくださり、片付けに御参加していただきましたこと感謝申し上げます。これからも保護者の皆様、地域の皆様と共にある学校を目指して、子供たちの成長を支えてまいりたいと思います。